

令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	高齢者の生活援助を支える新たな人材育成 (70~90代を支える50~60代の人材育成)
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 生活応援ネット スキップ (連絡先 0265-48-5643)
事業区分	(2) 保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	717,144円

事業内容

- 有償ボランティア養成講座の開催
開催回数：全5回コース+修了式
内4コース：座学・演習、於かがやきパレット
1コース：生活応援現場実習、於一般家庭
狙い：生活支援サービスの担い手の確保・育成
開催時期：令和1年10/30、11/18、12/16、1/20
令和2年2/10~2/25 現場実習
2/26 修了式
受講人数：8名(延べ40人・日)
講師：講座コースに合わせた専門家講師
(含行政担当)



【第4回 演習】

【目標・ねらい】

事業効果

介護保険でカバーできない制度外の領域の支援へのニーズが増している。本事業を通し、

- 制度外サービスの担い手の確保・育成を行い、地域に参加。
- 担い手の技能向上を図った：「これだけは修得して欲しい心構え、知識、技能」を習得した。
- 「生活・介護支援員」(民間資格)の資格を付与し、担い手としての意識を高めることができた。
- 講座は各テーマにふさわしい専門家講師陣を揃えた。

- 生活支援サービスの担い手の育成
- 生活支援サービスの質の向上
- 利用される高齢の方、障害のある方々の満足度の向上
- 各コースの専門家講師との今後の繋がり、連携を深める。

※自己評価【A】

【理由】
生活・介護支援員の資格を付与されたことで、参加者の地域貢献しようという意識が高まった。飯田市や県飯田保健福祉事務所の協力を得られた。

今後の取り組み

- 令和1年の受講生からも継続する価値のある講座との話が寄せられています。令和2年度も本元気づくりを活用し、継続開催していく。継続により、生活・介護支援員としての担い手を養成し、地域福祉の向上に寄与する。
- 次年度から飯田市の地域福祉づくりの一環として一体的な取組を検討していく。